

鍾乳洞見学 あぶくま洞 (福島県田村市滝根町)

滝根の大地は海底だった——。見学した「あぶくま洞」は石灰岩の鍾乳洞。高等学校では、「地理」で地形や分布について、「化学」では石灰岩が侵食されるメカニズムを化学反応で学習します。それを実際に見て確認することができました。

石灰岩の主成分は炭酸カルシウム。太古の海中に棲んでいた貝やサンゴの死骸が長い年月をかけて積み重なり固い岩石に変化したものです。そこに空気中の二酸化炭素が溶け込んだ雨が降り注ぐと、石灰岩に浸みわたり、やがて鍾乳洞を形成します。



ようやく実現した鍾乳洞の見学。洞窟内の気温は 15℃。ある程度の涼しさは想定していたものの、長袖を着ていても寒く感じました。しかし、中へと進むにつれて汗ばむ一行。そうです、洞窟内には至るところから滴る雨水。湿度が高い！狭い隙間と急な登り道。少し息切れしながらも、鍾乳洞を存分に観察することができました。見学レポートをポスターにまとめ、校内文化研究発表会で披露したいと思います。

